

第6次京都府食の安心・安全行動計画 数値目標一覧

資料1-1

新規取組

| 柱 | 番号 | 取組 | 指標 | 目標 R4 | 実績 R4 | 計画比 R4 | 目標 R5 | 目標 R6 | コロナ禍の影響と対応 | 主な担当課 | |
|---------------------------------|-----------------------------|--|---|------------|-------|--------|-------|-------|--|---|----------------------------|
| 1 に食の安全視性・確保検査に体制けた確行保政 | | [目指す姿] 生産現場等において、生産に伴うリスクの低減とともに、食中毒等による健康被害、食品の規格基準違反、食品表示違反などが発生ゼロとなることを目指します。 | | | | | | | | | |
| | (1) 生産現場等の監視、指導 | ① | 農薬使用者に対する適正使用指導 | 指導数(回/年) | 270 | 278 | 103% | 270 | 270 | 職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。 | 農産課 |
| | | ② | 全畜産農家に対する動物用医薬品等の適正使用指導 | 指導率(%/年) | 100 | 100 | 100% | 100 | 100 | 巡回職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して、立入等を実施。 | 畜産課 |
| | | ③ | 養鶏農場における高病原性鳥インフルエンザ侵入監視のためのウイルス学的検査 | 検査率(%/年) | 100 | 100 | 100% | 100 | 100 | 巡回職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して、立入等を実施。 | 畜産課 |
| | | ④ | 全水産養殖業者に対する動物用医薬品等の適正使用指導 | 指導率(%/年) | 100 | 100 | 100% | 100 | 100 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、直接指導を控え資料を活用した指導を中心に実施。巡回の際は、職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。また、一部遠隔診療による魚病診断を実施。 | 水産課 |
| | | ⑤ | 二枚貝類の主要養殖海域における定期的な貝毒発生状況調査 | 調査数(回/年) | 48 | 63 | 131% | 48 | 48 | 職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。 | 水産課 |
| | | ⑥ | 農薬販売店への立入調査 | 調査数(回/年) | 200 | 191 | 96% | 200 | 200 | 職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。 | 農産課 |
| | | ⑦ | 飼料等製造業者、販売業者への立入調査 | 調査数(件/年) | 13 | 14 | 108% | 13 | 13 | 巡回職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して、立入等を実施。 | 畜産課 |
| | (2) 流通段階の監視、指導 | ⑧ | 食品表示の巡回指導 | 適正表示率(%) | 95以上 | 97 | 102% | 95以上 | 95以上 | 職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。 | 農政課、生活衛生課、健康対策課、消費生活安全センター |
| | | ⑨ | 食品表示における科学的検査 | 検査数(検体/年) | 40 | 40 | 100% | 40 | 40 | 職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。 | 農政課 |
| | | ⑩ | 新たに許可を受けた飲食店に対しテイクアウトやデリバリーを行う際に食中毒を発生させないための監視指導 | 指導率(%/年) | 100 | 100 | 100% | 100 | 100 | 職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。 | 生活衛生課 |
| | | ⑪ | 食品衛生法に基づく食品等の収去検査 | 検査数(検体/年) | 750 | 750 | 100% | 750 | 750 | 職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。 | 生活衛生課 |
| | ⑫ | 野生鳥獣肉を取り扱う食肉処理施設の監視指導 | 監視指導率(%/年) | 100 | 92 | 92% | 100 | 100 | 職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止対策を徹底して実施。 | 生活衛生課 | |
| 2 関食連を事取業者等くの変自化主的対応する組の食促品進 | | [目指す姿] 安心・安全な食品を提供する事業者等を育成し、事業者の知識向上、食品による健康被害の防止を目指します。 | | | | | | | | | |
| | (1) 安心・安全な食品を提供する事業者等の育成 | ⑬ | 農薬講習会の開催 | 参加人数(人/年) | 290 | 323 | 111% | 290 | 290 | マスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 農産課 |
| | | ⑭ | 農薬管理指導士の養成 | 延登録人数(人) | 910 | 933 | 103% | 920 | 930 | マスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 農産課 |
| | | ⑮ | 自主的な残留農薬分析の推進 | 検査数(検体/年) | 124 | 140 | 113% | 124 | 124 | 通常実施。 | 農産課 |
| | | ⑯ | HACCPの定着に向けた指導と食品衛生責任者の研修会開催 | 開催数(回/年) | 30 | 34 | 113% | 30 | 30 | マスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 生活衛生課 |
| | | ⑰ | 6次産業化に取り組む生産者向け食の安全マネジメント研修会の開催 | 開催数(回/年) | 5 | 4 | 80% | 5 | 5 | マスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 流通・ブランド戦略課 |
| | | ⑱ | 食品関連事業者向け新たな食品表示制度の普及啓発 | 普及啓発数(回/年) | 5 | 6 | 120% | 5 | 5 | オンライン開催とし、視聴会場においては、マスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 農政課、健康対策課、生活衛生課 |
| | | ⑲ | きょうと 健康 おもてなし 食の健康づくり応援店 | 延登録店舗数(店舗) | 800 | 804 | 101% | 800 | 800 | 新型コロナウイルス感染症の影響により飲食店の閉店に伴う応援店の減少が懸念されるため、引き続き、登録制度を周知し、環境整備を推進していく。 | 健康対策課 |
| | | ⑳ | ボランティア向けの食の安心・安全講習会の開催 | 開催数(回/年) | 5 | 3 | 60% | 5 | 5 | 一部でオンライン開催を実施し、対面開催ではマスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 生活衛生課、健康対策課、農政課 |
| | | ㉑ | 食物アレルギーのある児童・生徒への個別の取組プランの作成率の向上 | プラン作成率(%) | 98 | 97 | 99% | 99 | 100 | 通常実施。 | 保健体育課 |
| | ㉒ | 緊急時の食に関する対応研修会の開催 | 開催数(回/年) | 5 | 5 | 100% | 5 | 5 | 一部でオンライン開催を実施し、対面開催ではマスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 生活衛生課、健康対策課、農政課 | |

新規取組

| 柱 | 番号 | 取組 | 指標 | 目標 R4 | 実績 R4 | 計画比 R4 | 目標 R5 | 目標 R6 | コロナ禍の影響と対応 | 主な担当課 | |
|--|--|---|--|---------------|----------|-----------|----------|----------|---|--|---------------|
| 2 連食に 的対取 な事業 取組者 の等取 の食組 の自の 主品変 関化進 | | 〔目指す姿〕 持続可能な農業に取り組む生産者等を育成し、生産者の知識向上、安心・安全な食品の安定供給を目指します。 | | | | | | | | | |
| | (2) 持続可能な 農業の推進 | ⑳ | 特別栽培米など環境にやさしい農業の推進 | 面積 (h a) | 2,236 | 2,269 | 101% | 2,271 | 2,306 | 通常実施。 | 農産課 |
| | | ㉑ | 気候変動等にも対応した安心安全な府内産農林水産物の安定供給のための研究の実施 | 件数 (件/年) | 6 | 7 | 117% | 6 | 6 | 通常実施。 | 流通・ブランド戦略課 |
| | | ㉒ | 営農支援クラウドシステムによる営農指導の強化と栽培履歴の電子化 | 延導入団体数 (件) | 5 | 5 | 100% | 5 | 5 | 通常実施。 | 流通・ブランド戦略課 |
| 3 た向府 正上民 確との な選食 情扱に 報力関 の向す 提上る 供に信 向頼 け感 | (1) 府民と食品 関連事業者 の交流による 相互理解の 促進 | 〔目指す姿〕 消費者、事業者、行政の交流を通じて、食の安心・安全に関する相互理解の促進を目指します。 | | | | | | | | | |
| | | ㉓ | 食の安心・安全に関するオンライン等を活用したリスクコミュニケーション等の開催 | 参加者数 (人/年) | 500 | 546 | 109% | 500 | 500 | 一部でオンライン開催を併用しながら、対面開催ではマスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 農政課、関係課 |
| | | ㉔ | 学生等によるきょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成 | 延登録者数 (人) | 140 | 176 | 126% | 145 | 150 | オンライン及び対面による養成講座の開催を可能とし、対面開催では、マスク着用、手指消毒、換気など感染防止対策を徹底して開催。 | 農政課 |
| | (2) 府民の食に 関する学習 環境の充実 | 〔目指す姿〕 府民・食品関連事業者へ適切に情報提供し、府民の食の安心・安全に関する学習環境の充実を目指します。 | | | | | | | | | |
| | | ㉕ | 食の府民大学の動画講座の充実・利用拡大 | 総動画再生数 (回) | 40,000 | 61,811 | 155% | 50,000 | 60,000 | 通常実施。 コロナ禍で、健康や食についての関心が高まるとともに、動画の活用が増加している。 | 農政課、関係課 |
| | | ㉖ | 府ホームページ等において、府の施策・取組を分かりやすく紹介 | 更新数 (回/年) | 12 | 12 | 100% | 12 | 12 | 通常実施。 インターネットによって食に関する情報を集める人が増えている中、行政による正確な情報提供が重要と考え、わかりやすさを念頭に点検を行っている。 | 農政課、生活衛生課、関係課 |
| | ㉗ | SNS等様々な媒体を活用した適切な食情報の発信 | 発信数 (回/年) | 24 | 24 | 100% | 24 | 24 | 通常実施。 インターネットによって食に関する情報を集める人が増えている中、行政による正確な情報の発信を続けることが重要と考え、情報発信を行っている。 | 農政課、関係課 | |

| | | |
|--------------|----|------|
| R4 計画比100%以上 | 25 | 83% |
| R4 計画比100%未満 | 5 | 17% |
| 計 | 30 | 100% |